



市保連 だより

2019
(8月)

[第482号]

令和元年8月1日発行
一般社団法人熊本市保育園連盟
企画広報委員会

発行責任者 江藤 美信
〒860-0004 熊本市中央区新町2-4-27
熊本市健康センター新町分室2階
TEL (096) 322-0096
委員長 山崎 敬太郎
委員 今村 修一 浦田 エミ
森下 美穂 田中 晋輔
新美 美穂



特別寄稿

安心して子育てできる環境づくりに向けて

熊本市保育幼稚園課長 大林 正夫

今年度の定期異動によりまして、熊本市保育幼稚園課長を拝命いたしました大林正夫と申します。不慣れな面もあろうかと思いますが、保育行政に鋭意取り組んでまいりますので、皆様方のご指導のほどよろしくお願いたします。

熊本市保育園連盟の各園の皆様方におかれましては、日ごろより、本市の教育・保育の推進に格別のご尽力を賜り、心から御礼申し上げます。また、本年6月に開催されました「全国私立保育園研究大会熊本市大会」では、全国から多くの方々のご参加のもと、「希望に満ちた子どもたちと共に歩むために」をテーマに開催され、成功裏に終わられましたこと心よりお祝い申し上げます。

さて、近年の保育を取り巻く環境といたしましては、就学前児童数が減少していくなど少子高齢化は進んでいるものの、子育てと社会参加の両立を目指す世帯の増加などを背景に、保育園への入園を希望する方は年々増加している状況でございます。

本市における待機児童対策につきましては、平成27年より、保育施設の整備等を行う「保育の受け皿の確保」、潜在保育士の掘り起こしや保育補助者の子育て支援員の養成を行う「保育の担い手の確保」、及び各区役所に利用希望者に寄り添った相談受付、情報の提供を行う利用者支援員の配置や、保育園の空き情報の公開などを

行っている「入所事務の改善」、この3つの柱を取り組んでまいりました。

その結果、平成27年4月時点での397人の待機児童数から平成28年から3年間、待機児童ゼロを達成することができましたが、残念ながら平成31年は待機児童ゼロとはなりません。しかしながら、平成27年と比較いたしますと約3千人も多くの児童に保育園の利用の案内ができていたことを考えますと、これもひとえに皆様方のご協力あってのものであり、改めて感謝申し上げます。今後は、10月から実施予定の新しい制度であります幼児教育無償化への対応を進めながら、この3つの柱を中心に、待機児童、保留児童が一人でも減少しますように努力を重ねてまいりますので、様々な形でお力添えをお願いいたします。

最後に、本年は令和という新しい時代の幕開けでありますとともに、本市におきましては市政施行130周年という大きな節目でもあります。誰もが安心して子育てできる環境づくりに取り組んでまいりますので、熊本市保育園連盟の皆様方には、なお一層のご理解とご協力をお願いいたしまして、新任のご挨拶といたします。





特別寄稿

こどもたちとつくる運動会

株式会社トヨタ体育教室

代表取締役社長 豊田隆志

「運動会」この言葉を聞いて、どういう思い出が蘇りますか。楽しい思い出、そうでない思い出…いろいろな思い出があると思います。

それでは、それぞれの思い出がある「運動会」を私たちはどのように考え、今後取り組んでいけば良いのでしょうか。

私は、運動会には大きく2つの意味があると思います。

まず一つ目は、**個人種目として、子どもたちが、成長や頑張っている様子を「みせる場」であること。**

二つ目は、**子どもたちが仲間と、一つの目的、目標に向かい、力を合わせてやり遂げ、大きな達成感を「感じる場」であるということ**です。

私は体育指導を始め13年になりますが、10年くらい前にこんなことがありました。

私は、運動会の組み立ても少しずつ慣れてきて、「子どもたちの演技を、去年よりもっと良いものにして保護者に見せたい」という私個人の目標だけで、運動会の練習に取り組み始めました。

運動会の練習が始まり、子どもたちも新しい取り組みに目をキラキラ輝かせていましたが、種目の難易度が上がるにつれ、その種目をできる子と、できない子の力の差が目立ってきたのです。しかし、私は子どもたちの力量と気持ちを考えずに、練習を重ね、自分勝手な理想に近づけたいがために、できない子には厳しい言葉をかけていました。

結局、その年の発表は、練習でできていたこともうまくできず、まとまりのないものになってしまいました。私の自分勝手な理想ばかりを追いかけてしまい、子どもたちがついてこれなかったのです。

この失敗を経験した私は考えるようになりました。

現在は、練習開始前に「何のために運動会に取り組むのか」という目的と、「運動会でどういう自分たちになりたいのか」というビジョンをしっかり話し、運動会に向けて、私と子どもたちの共

通の目的を持って練習をするようにしています。

そこで、私が一番考えることは、子どもたちに運動が楽しいと思わせることです。私は、子どもたちができるようになったことは、どんな小さなことでも

褒め、「やればできる」という声かけをたくさんします。すると、子どもたちは次第に運動することを好きになり、自信を持って進んで取り組み、子どもたちのリズム感・体の使い方・運動等の幅も自然と広がっていきます。その幅の中から、最適なモノを選び、積み上げていくようにしています。

「子どもたちとつくる運動会」とは、主導は「先生方(指導者)」にあるのは間違いありません。しかし、子どもたちに大きな達成感を感じさせるためには、指導者が目的の理解と子どもたちに最適なプロセスのもとで一緒に創り上げていく、というスタンスが大変重要になってきます。指導者にとって、様々な個性を持つ子どもたち一人ひとりの持てる力を、最大限に引き出し、輝かせてあげられるか、そして、一つのテーマにベクトルを合わせ、モチベーションを維持しながら、運動会という大舞台にピークを持っていけるかは大きな課題でもあります。しかし、指導者の力量以上のことは子どもたちにはできません。子どもたちは自分の鏡なのです。子どもたちの成長の場でもあり、指導者の成長の場でもあります。まずは、背伸びをしすぎず、自分自身がワクワクし、楽しみながら取り組んでいくことで、きっと子どもたちもワクワクしながらついてきてくれることと考えます。





特別寄稿

こどもたちとつくる発表会

元劇団四季

in.K. musical studio 代表 小松野 希海

私が演劇を仕事としていることから、今回は特に「演劇の発表会」に関して書いていきたい。意識的に演劇活動を始めたのは劇団に入ったときからだが、演劇的なことは、自宅や幼稚園で家族・友達とやっていた「おままごと」でやっていたように思う。幼稚園では当時、家族設定をつくってのおままごとや、アニメが全盛期だったセーラムーンのキャラになりきったごっこ遊びで遊んでいた。

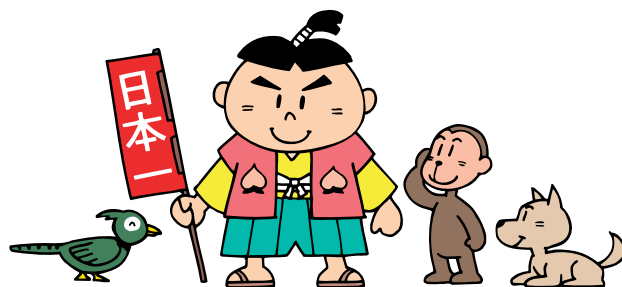
小学生になると、日曜日の朝には早起きして自宅レストランを開いていた。メニューを作成し、まだ布団に居る家族7人に朝食を食べたい時間と注文を聞き、その通りにできるよう料理を準備する。その時の家族との会話は、自分が店員さんで、家族がお客さんという設定。しゃべり口調もそれっぽくしてしゃべっていた。これがなんとも楽しかったのを覚えている。

私は、幼少時代からとにかく「何かになる」ことが好きだった。それが何故だったか、いま演劇に携わるようになって考えてみると、その時々によって変化する誰かとの「コミュニケーション」を楽しんでいたのではないかと思う。例えば、友達のともちゃんとも、それぞれが「お母さん」「赤ちゃん」という役になることによって、二人の関係性も、話す言葉も、返ってくる言葉も変化する。そして、役が「先生」と「生徒」になれば、この関係性はまた変化する。その時の登場人物同士の関係性や、状況設定などによって起こるコミュニケーションの変化をこどもながらも楽しんでいたので。

大学卒業後、劇団四季に入団した。プロの役者といえば、発声練習や、滑舌練習などテクニックの稽古を中心に行うイメージが強かったが、入団してみると少し違った。もちろん技術も必要とさ

れたが、何より大切にしよう言われたのは、芝居のなかでの「交流」であった。つまり役と役との「交流」、言い換えれば役と役との「コミュニケーション」なのだ。やはり劇団四季でも、役者が演じる「登場人物同士のコミュニケーション」を描くことが、演劇においてとても重要とされていた。そこで、こどもたちと演劇を創る際にもこの「コミュニケーション」について注目しながら取り組んでみることをお勧めする。

例えば、桃太郎とおじいさんの関係性を考えてみる。桃太郎は、おじいさんのことが大好きなのか、そんなに親しみは感じていないのか、きび団子を作ってほしいのか、それとも別にいらないけどせっかくだから持っていくかと思っているのでは……。桃太郎のおじいさんに対するコミュニケーションの取り方も違い、出てくる表現も全く変わってくるかもしれない。もし、こどもたちと演劇を創ることがあれば、ぜひこの登場人物同士のコミュニケーションの変化を楽しみながら創作してみてもどうだろう。





さぼーと情報（熊本市等補助事業紹介） 省エネルギー設備導入補助金(中小企業者等向け)

※受付開始は、令和元年(2019年)6月3日(月)の予定です。

補助対象者

社会福祉法（昭和26年法律第45号）第22条に規定する社会福祉法人等

補助対象事業

補助対象者が既に事業活動を営んでいる既設の事業所（熊本市内に存するものに限る。）において使用している設備を、省エネルギー設備（経済産業大臣が定めた当該年度の「省エネルギー投資促進に向けた支援補助金（エネルギー使用合理化等事業者支援事業）交付要綱」に基づく補助事業者が行う「設備単位での省エネルギー設備導入事業」又は「電力需要の低減に資する設備投資支援事業補助金交付要綱」に基づく補助事業者が行う「設備単位での省電力設備導入事業」の補助金の対象としている省エネルギー性能を有するものに限る。以下この表において同じ。）に更新する事業（以下この表において「更新事業」という。）

補助対象経費

更新事業により導入する省エネルギー設備の設備費用（設計費、運搬費、据付費、工事費その他諸経費及び配線、配管等の付属機器に係る費用並びに消費税・地方消費税相当額を控除した額）

補助額

補助対象経費に3分の1を乗じて得た額（その額に1,000円未満の端数があるときは、これを切り捨てた額）。ただし、上限額は200万円、下限額は20万円とする。

詳しくは…

熊本市ホームページ→「人生のできごとから探す」の中の「住まい・引越し」（トラックマーク）→住まいの支援・補助→平成31年度（2019年度）熊本市省エネルギー機器等導入推進事業補助金についてをご覧ください。

導入事例 蛍光灯をLEDへ 古いエアコンを新しいエアコンへ 等



8月の予定



会 合	日 時	会 場
火の国まつり総踊り	8月3日(土)	熊本市役所周辺
夏の自然楽校	8月4日(日)	立田山野外保育センター雑草の森
キャリアアップ研修(食育・アレルギー)	8月17日(土)	熊本県民交流館パレア 9F会議室1
キャリアアップ研修(障がい児保育)	8月18日(日)	熊本県民交流館パレア 9F会議室1
キャリアアップ研修(障がい児保育)	8月25日(日)	熊本県民交流館パレア 9F会議室1
保育士会リーダーセミナー	8月30日(金)	熊本市国際交流会館 6.7Fホール

♡♡♡♡♡♡ ご結婚おめでとうございます ♡♡♡♡♡♡



鳳鳴保育園	平成31年3月10日	保育士	緒方 愛 先生	(旧姓：佐伯)
寺原保育園	平成31年4月1日	保育教諭	田尻 聡美 先生	(旧姓：田上)
力合さくら子ども園	平成31年4月11日	保育教諭	安田 亜矢子 先生	(旧姓：平田)
誠櫻幼愛園	令和元年6月2日	保育教諭	山下 裕子 先生	(旧姓：堀田)
聖母幼愛園	令和元年6月29日	保育士	堀田 あゆみ 先生	(旧姓：浜田)
小山保育園	令和元年6月29日	保育士	竹浦 智美 先生	(旧姓：田尻)
水前寺保育園	令和元年7月7日	保育士	竹原 望 先生	(旧姓：園田)

